

議会報告会報告書

平成25年8月5日

山陽小野田市議会

議長 尾山信義 様

B班

代表 大井淳一郎

平成25年6月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成25年7月31日（水） 19:00～

2 開催場所

埴生公民館

3 参加人数（市民）

10 人

4 担当班議員名

（ 大井淳一郎 ）（ 江本郁夫 ）（ 小野 泰 ）（ 河野朋子 ）
（ 中島好人 ）（ 中村博行 ）（ 山田伸幸 ）

5 報告会次第

- （1） 市議会議長挨拶
- （2） 6月議会の報告
 - ① 総務文教常任委員会
 - ② 民生福祉常任委員会
 - ③ 産業建設常任委員会
- （3） 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

- ① 複合施設が本当に必要なのか。それよりも、景気がよくなることを考えるべきではないのか。

[回 答]

景気対策も大切だが、非常に老朽化した施設であるので建設する必要がある。

- ② 公民館と体育館についてどのように建築するのか。

[回 答]

体育館の中に公民館との共用スペースがあり、図書館にも公民館との共用スペースがある。詳細については今後詰めていきたい。

- ③ 体育館の広さはいくらで、収容人員は何人か。

[回 答]

その辺まで詳しく議論していないが、バレーコートが1面できる面積はある。

- ④ 体育館として使用すると空調はどのようになるのか。

[回 答]

今後、空調の設置については、この施設を体育館として建設するのか講堂として建設するのかを検討し、対応していくことになる。

- ⑤ 高齢消費者の二次被害防止については、電話より自宅訪問にすべきではないか。

[回 答]

民生委員等が極力訪問することも含め、このモデル事業がムダにならないよう努めたい。

- ⑥ デマンド交通の実施について市で検討していないのか。

[回 答]

来年の秋頃より実施の方向で検討している。

- ⑦ デマンドのコンサルタント業者が県外となっているがなぜか。

[回 答]

現在のところ、県内に該当する業者がいない。県外業者が作成したシステムを使い、デマンド交通実現を目指す。

- ⑧ 調査費が200万円であるが、コンサルタント業者に委託せずにルートと時間さえ決めればよいのではないか。

[回 答]

予約システムの対応やコンピュータープログラムの作成について、専門的な業者が取り組むことが重要である。

⑨ 耕作放棄地が多くあるが市として農業についてどのように考えているのか。

[回 答]

先日農業委員会から出された建議書について話をした。また、今回の補正では営農組合、青年就農給付金についての予算も計上されている。TPP については意見書を国に提出している。議会としては、皆さんの意見を十分聞いて市政に反映させたい。

⑩ 議員定数の削減についてはどうするのか。

[回 答]

9月議会までには結論を出す。「適正な議員定数を考える協議会」で答申した19人、22人、25人、の選択技を踏まえて、引き続き議論していく。

⑪ 議員定数については20名以下が山陽小野田市民の世論ではではないかと思う。

⑫ 議員定数は多いほうが良い。議員が多くいて市民の意見を聞き、負託に応えることが必要である。